



2009～10 年度
国際ロータリー会長

ジョン・ケニー

Weekly Report Niigata



2009～10 年度
新潟ロータリー会長

小林 敬直



ロータリーの未来は
あなたの手の中に

2009～2010 年度 国際ロータリーのテーマ

新潟 RC 3 月第 5 例会 (2010.3.30) No.2842

(1) ロータリーソング「我らの生業」斉唱

(2) 小林 敬直会長挨拶

米山梅吉

「米山梅吉の一生」という本があります。

その本の帯には、

「金融界の二宮金次郎、

“信じて託す”という信託の原点に立って、日本で最初の信託銀行を設立、

また、日本でロータリークラブを設立し三井報恩会の理事長として、広く社会奉仕を行い、その生涯を公益事業に捧げ、明治・大正・昭和を生きた経済人」とあります。

ロータリアンにとっては米山財団の創始者としても知られています。

米山梅吉は、明治元年に和田竹造・うた、の三男として生まれ 12 才の時米山家へ養子として迎えられています。

明治 16 年沼津中学を中退し無断で上京します。

渡米の夢をもち、それを果たすため東京府の下級役人となるがすぐにやめて、東京英和学校へ入学、その伝で渡米、八年間の留学生活を送る。

最終的にオハイオ州のウエストリアン大学で学位を取得します。帰国をし、その後、結婚し日本鉄道会社に入社し、その後三井銀行に入社します、欧米出張を命ぜられるなどして、神戸支店長・大阪支店長と出世をし、最終的には常務にまで出世します。又、梅吉は信託銀行にも興味をもち、海外視察を行い、のちに三井信託銀行を創立しています。

その間、多数の欧米への視察の中でロータリークラブの活動を知り、大正9年 10 月 20 日に東京ロータリークラブを設立します、梅吉 53 才のことでした。

そして、大正 13 年には神戸ロータリークラブと名古屋ロータリークラブが設立され、その後、大阪・京都・横浜と 6 つのロータリーが設立されました。

その後、昭和3年には太平洋ロータリー大会が東京で開催されました。

そして大会には、アメリカ・カナダ・ハワイ・オーストラリア・シンガポール・フィリピン・中国などの各地から 5～600 人の人が

あつまりました。

翌、昭和 5 年 5 月には、世界大会がアメリカ・テキサス州のダラスで行われ米山梅吉ガバナーが出席をしました。

その後、日本ロータリークラブは昭和 15 年に戦局の風雲を告げるに際し、国際ロータリーを脱退し、終戦後 昭和 24 年 3 月に復帰をします。

そして、「戦後のアジア民族融和のために、なにかロータリークラブで役立つことはないか」「ロータリークラブの会員の寄附金によって、アジア諸国からの留学生を呼ぶことはどうであろうか」との意見が高まり、昭和 28 年にその奨学資金がつけられ「ロータリー米山奨学会」として発足しまして、昭和 28 年に最初にタイとインドから 3 人の奨学生を迎えてから現在にいたっています。

米山ファンドは、奨学生 1 人 1 人に学校所在地のロータリークラブが世話クラブとなり、1 人のロータリアンがカウンセラーとして、留学期間中 留学生の個人的ケアにあたることです。

そして奨学生は、毎月 1 回ロータリークラブの例会に出席し、ロータリアンと交流することにより、日本文化に接し、国際交流について考える機会をもつことができるのです。〈ダビド君が本年その奨学生です〉

最後にポール・ハリスの「ロータリーの理想と友愛」という本を梅吉が翻訳していますが、その序文の中で

「それぞれ、その祖国に忠良なる臣民にして、いろいろと職業を異にする実業人が、広く友愛の主義によって結合し、まず、その道徳水準を高めて、自己の利益を第一とする態度を改め、もっぱら国家社会の福利に貢献するところがあるように、奉仕の精神を基調として合同し、政治・宗教の外に立ち、国際の親善ひいては世界の平和に貢献するロータリー運動の理想と、その組織の真相を周知せしめるために、この書を得たのはまことに幸いである」と述べています。

このロータリー精神が、米山梅吉とともに、いまもロータリークラブ活動に脈々とうけつがられています。

(3) 幹事報告（石井 和弘幹事）

(4) 事業計画の発表

8月25日の例会予定

「伝統的工芸品・新潟漆器について」

新潟漆器同業組合組合長 佐藤 圭輔市

ホームページを更新致しました！

新潟ロータリークラブ ホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>

新潟ロータリークラブ創立70周年記念式典
2010年4月23日(金)